

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年2月13日

【四半期会計期間】 第46期第3四半期(自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)

【会社名】 株式会社星医療酸器

【英訳名】 HOSHI IRYO-SANKI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 星 幸男

【本店の所在の場所】 東京都足立区入谷七丁目11番18号

【電話番号】 (03)3899-2101(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 青木 経一郎

【最寄りの連絡場所】 東京都足立区入谷七丁目11番18号

【電話番号】 (03)3899-2101(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 青木 経一郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社星医療酸器 神奈川事業所
(神奈川県綾瀬市早川字上原2647番地27)
株式会社星医療酸器 千葉支店
(千葉県千葉市稲毛区山王町305番地10)
株式会社星医療酸器 埼玉営業所
(埼玉県桶川市赤堀二丁目13番地)
株式会社星医療酸器 名古屋支店
(愛知県小牧市大字舟津1298番地)
株式会社星医療酸器 大阪営業所
(大阪府交野市私部西五丁目32番25号)
株式会社星医療酸器 尼崎営業所
(兵庫県尼崎市東難波町二丁目1番5号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第45期 第3四半期 連結累計期間	第46期 第3四半期 連結累計期間	第45期
会計期間	自 2018年4月1日 至 2018年12月31日	自 2019年4月1日 至 2019年12月31日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高 (千円)	7,711,245	7,859,674	10,826,673
経常利益 (千円)	909,159	979,539	1,319,840
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	618,105	645,321	870,571
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	586,193	769,188	852,683
純資産額 (千円)	12,377,436	13,074,473	12,643,737
総資産額 (千円)	16,098,994	16,676,244	16,814,236
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	187.14	197.38	263.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	75.7	77.2	74.0

回次	第45期 第3四半期 連結会計期間	第46期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 2018年10月1日 至 2018年12月31日	自 2019年10月1日 至 2019年12月31日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	68.92	63.51

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社につきましても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在しておりません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当第3四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 経営成績

当第3四半期累計期間における我が国経済は、相次ぐ自然災害による一時的な経済への減速が見られたものの、企業業績や雇用情勢の改善が続き、景気は緩やかな回復基調の中で推移いたしました。一方海外では、米中の貿易摩擦の長期化や英国のEU離脱などの影響が懸念されるなど、依然として先行きの不透明な状況が続きました。

医療・介護・福祉業界は、高齢者人口の増加を背景とした需要の増大とニーズの変化に対応すべく、医療機能の分化と連携、ICT化推進などの効率化が求められています。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高は7,859百万円（前年同四半期比1.9%増）、連結営業利益は951百万円（前年同四半期比6.8%増）、連結経常利益は979百万円（前年同四半期比7.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は645百万円（前年同四半期比4.4%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

医療用ガス関連事業

当部門は、日帰り手術の増加等医療技術の進歩や医療機関数の減少、DPC（包括医療制度）導入病院の増加などを背景として、医療用酸素ガスの消費量が年々減少傾向にある厳しい事業環境が続きました。このような環境のもと、24時間緊急対応が可能な医療用ガスの供給体制を維持し、「保安と安定供給」を第一義とした事業運営に徹しつつ、新規顧客の獲得と新しいビジネスモデルの開拓などに取り組んでまいりました。

これらの結果、売上高は2,516百万円（前年同四半期比0.8%増）、セグメント利益は228百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

在宅医療関連事業

当部門は、学会への出展や病院内でのPR活動などきめの細かい営業活動を展開し、自社開発の高機能リモコン「パレット」を搭載した酸素濃縮器「WESTELLA（ウイステラ）」は、着実に市場への浸透と新規顧客の獲得を進めることができました。また、利用者数の増加に伴い市場規模の拡大が顕著な「CPAP」（持続陽圧呼吸療法）も好調に推移いたしました。

また、安心・安全で納得のできる質の高い医療の実現と、医療従事者の負担軽減など診療サポートに寄与できるアイテムとして「オンライン診療システム」の提供も堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は3,403百万円（前年同四半期比3.4%増）、セグメント利益は520百万円（前年同四半期比12.1%増）となりました。

医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療用ガス設備工事が、建築価格の高騰、競合他社との受注競争の激化等を背景に、原価低減に努めてまいりました。消火設備工事については顧客ニーズに対応した営業活動を継続して実施してまいりました。

これらの結果、売上高は542百万円（前年同四半期比18.3%減）、セグメント利益は85百万円（前年同四半期比29.5%増）となりました。

介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連商品のレンタル及び販売部門において、地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業強化が奏功し、レンタル売上が順調に推移いたしました。

また、訪問看護・居宅支援事業所は、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション巣鴨」（東京都文京区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）、「星医療酸器訪問看護・リハビリステーション王子」（東京都北区）の3拠点を事業基盤として、地域へのPR活動強化による認知度アップとスタッフの増員など運営体制の強化に努めました。

これらの結果、売上高は536百万円（前年同四半期比5.8%増）、セグメント利益は45百万円（前年同四半期比19.5%減）となりました。

施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」（東京都杉並区）の、24時間看護師常駐、地元医療機関との連携強化などの付加価値サービスの提供を通じて、ご入居者様、ご家族様に「安心と安全」をお届けすることをモットーとした運営管理に徹し、新規ご入居様の確保に努めました。さらに、2017年に着手した体制再構築活動の成果も発現しつつあり、入居率は改善傾向で推移いたしました。

また、通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ王子」（東京都北区）は、地元に着したサービスの提供と新たな顧客ニーズの発掘に努め、稼働率アップを図りました。

これらの結果、売上高は253百万円（前年同四半期比4.8%増）、セグメント利益は3百万円（前年同四半期セグメント損失26百万円）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は16,676百万円（前連結会計年度末比137百万円減）となりました。これは主に、有形固定資産が1,295百万円、投資有価証券が202百万円増加し、現金及び預金が1,326百万円、受取手形及び売掛金が349百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は3,601百万円（前連結会計年度末比568百万円減）となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が461百万円、未払法人税等が107百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は13,074百万円（前連結会計年度末比430百万円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上と配当金の支払い及び自己株式の取得等により利益剰余金が464百万円、その他有価証券評価差額金が124百万円増加し、自己株式が157百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 研究開発活動

当第3四半期連結累計期間に研究開発費として10百万円支出しております。

3 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	8,500,000
計	8,500,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年12月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年2月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,420,000	3,420,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	株主としての権利内容に 制限のない、標準となる 株式であり、単元株式数 は100株であります。
計	3,420,000	3,420,000		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年10月1日～ 2019年12月31日		3,420,000		436,180		513,708

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2019年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 157,200		株主としての権利内容に制限のない、標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,257,700	32,577	同上
単元未満株式	普通株式 5,100		同上
発行済株式総数	3,420,000		
総株主の議決権		32,577	

- (注) 1. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式 株が含まれております。
2. 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年9月30日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

2019年12月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社星医療酸器	東京都足立区入谷 7 11 18	157,200		157,200	4.6
計		157,200		157,200	4.6

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,436,383	7,109,405
受取手形及び売掛金	2,233,299	1,883,727
たな卸資産	96,247	170,756
その他	78,988	126,654
貸倒引当金	4,762	3,324
流動資産合計	10,840,156	9,287,219
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	672,491	945,147
土地	2,370,654	3,323,904
その他(純額)	1,225,188	1,294,775
有形固定資産合計	4,268,334	5,563,826
無形固定資産	16,915	17,451
投資その他の資産		
投資有価証券	886,100	1,088,949
その他	809,516	720,579
貸倒引当金	6,786	1,781
投資その他の資産合計	1,688,829	1,807,747
固定資産合計	5,974,080	7,389,025
資産合計	16,814,236	16,676,244
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,907,444	1,445,698
未払法人税等	221,763	114,756
賞与引当金	111,400	59,000
その他	981,205	1,073,972
流動負債合計	3,221,813	2,693,427
固定負債		
役員退職慰労引当金	461,610	469,290
長期預り金		5,557
その他	487,076	433,496
固定負債合計	948,686	908,343
負債合計	4,170,499	3,601,771

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	11,494,215	11,958,884
自己株式	201,450	359,250
株主資本合計	12,242,653	12,549,522
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	181,268	305,996
退職給付に係る調整累計額	24,749	19,668
その他の包括利益累計額合計	206,017	325,664
非支配株主持分	195,066	199,286
純資産合計	12,643,737	13,074,473
負債純資産合計	16,814,236	16,676,244

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	7,711,245	7,859,674
売上原価	3,735,366	3,731,951
売上総利益	3,975,878	4,127,723
販売費及び一般管理費	3,085,644	3,176,566
営業利益	890,234	951,157
営業外収益		
受取利息	2,152	2,110
受取配当金	13,784	16,743
受取保険金	2,165	8,349
その他	7,045	11,509
営業外収益合計	25,148	38,712
営業外費用		
支払利息	6,223	6,540
その他		3,789
営業外費用合計	6,223	10,330
経常利益	909,159	979,539
特別利益		
固定資産売却益	1,035	
資産除去債務戻入益		18,704
その他		74
特別利益合計	1,035	18,778
特別損失		
固定資産売却損		421
固定資産除却損	110	32,938
ゴルフ会員権評価損		9,550
特別損失合計	110	42,909
税金等調整前四半期純利益	910,084	955,408
法人税等	286,005	306,231
四半期純利益	624,079	649,177
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,974	3,855
親会社株主に帰属する四半期純利益	618,105	645,321

【四半期連結包括利益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	624,079	649,177
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	34,448	125,388
退職給付に係る調整額	3,436	5,376
その他の包括利益合計	37,885	120,011
四半期包括利益	586,193	769,188
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	585,452	764,968
非支配株主に係る四半期包括利益	741	4,219

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
減価償却費	480,156千円	503,578千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年5月11日 取締役会	普通株式	66,056	20.00	2018年3月31日	2018年6月29日	利益剰余金
2018年11月9日 取締役会	普通株式	99,084	30.00	2018年9月30日	2018年12月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2018年9月7日開催の取締役会決議に基づき、2018年9月28日付で、自己株式181,681株の消却を実施しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ311,764千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が11,241,748千円、自己株式が201,261千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月13日 取締役会	普通株式	99,083	30.00	2019年3月31日	2019年6月28日	利益剰余金
2019年11月8日 取締役会	普通株式	81,569	25.00	2019年9月30日	2019年12月6日	利益剰余金

2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,495,946	3,292,030	664,798	507,621	241,780	7,202,176	509,069	7,711,245
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	-	-	73,503	-	-	73,503	-	73,503
計	2,495,946	3,292,030	738,301	507,621	241,780	7,275,679	509,069	7,784,748
セグメント利益 又は損失()	257,706	464,072	65,794	56,372	26,350	817,595	72,638	890,234

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	817,595
「その他」の区分の利益	72,638
セグメント間取引の消去	
四半期連結損益計算書の営業利益	890,234

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	2,516,809	3,403,562	542,823	536,855	253,273	7,253,324	606,349	7,859,674
セグメント間の 内部売上高又は 振替高			74,956			74,956		74,956
計	2,516,809	3,403,562	617,779	536,855	253,273	7,328,280	606,349	7,934,630
セグメント利益 又は損失()	228,655	520,124	85,172	45,392	3,900	883,245	67,911	951,157

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	883,245
「その他」の区分の利益	67,911
セグメント間取引の消去	
四半期連結損益計算書の営業利益	951,157

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
1株当たり四半期純利益金額	187円14銭	197円38銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	618,105	645,321
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	618,105	645,321
普通株式の期中平均株式数(株)	3,302,823	3,269,471

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

第46期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）中間配当については、2019年11月8日開催の取締役会において、2019年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	81,569千円
1株当たりの金額	25円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年12月6日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年2月10日

株式会社星医療酸器
取締役会 御中

太陽有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	竹	原	玄	印	
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高	田	政	憲	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社星医療酸器の2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(2019年10月1日から2019年12月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社星医療酸器及び連結子会社の2019年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。